

# 定期作況報告

(第1号 平成28年5月20日現在)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部 上川農業試験場

## 1. 気象概況

平成27年11月から平成28年5月中旬までの気象は次のとおりである(表2)。

### 平成26年

11月上旬: 平年に比べ、平均気温は0.8℃低く、降水量は26.7mm少なく、日照時間は11.6時間多かった。

11月中旬: 平年に比べ、平均気温は1.4℃高く、降水量は2.8mm少なく、日照時間は6.1時間多かった。

11月下旬: 平年に比べ、平均気温は1.9℃低く、降水量は11.7mm少なく、日照時間は3.6時間多かった。

12月上旬: 平年に比べ、平均気温は2.4℃高く、降水量は5.2mm多く、日照時間は9.3時間少なかった。

12月中旬: 平年に比べ、平均気温は3.6℃高く、降水量は3.6mm少なく、日照時間は3.0時間少なかった。

12月下旬: 平年に比べ、平均気温は0.2℃高く、降水量は16.0mm多く、日照時間は10.2時間多かった。

### 平成27年

1月上旬: 平年に比べ、平均気温は2.6℃高く、降水量は19.1mm多く、日照時間は8.5時間少なかった。

1月中旬: 平年に比べ、平均気温は0.4℃高く、降水量は15.0mm少なく、日照時間は1.5時間多かった。

1月下旬: 平年に比べ、平均気温は0.4℃低く、降水量は1.6mm多く、日照時間は2.1時間多かった。

2月上旬: 平年に比べ、平均気温は1.0℃高く、降水量は3.6mm少なく、日照時間は14.3時間少なかった。

2月中旬: 平年に比べ、平均気温は3.6℃高く、降水量は29.8mm多く、日照時間は20.0時間少なかった。

2月下旬: 平年に比べ、平均気温は1.8℃低く、降水量は6.0mm多く、日照時間は7.9時間少なかった。

3月上旬: 平年に比べ、平均気温は1.0℃低く、降水量は5.5mm少なく、日照時間は0.4時間多かった。

3月中旬: 平年に比べ、平均気温は1.4℃高く、降水量は18.1mm少なく、日照時間は25.4時間多かった。

3月下旬: 平年に比べ、平均気温は0.7℃高く、降水量は5.9mm少なく、日照時間は11.4時間多かった。

4月上旬: 平年に比べ、平均気温は2.2℃高く、降水量は6.5mm少なく、日照時間は7.2時間多かった。

4月中旬: 平年に比べ、平均気温は0.1℃高く、降水量は7.4mm多く、日照時間は28.8時間少なかった。

4月下旬: 平年に比べ、平均気温は1.0℃低く、降水量は3.8mm少なく、日照時間は7.6時間多かった。

5月上旬: 平年に比べ、平均気温は0.7℃高く、降水量は1.1mm少なく、日照時間は1.0時間少なかった。

5月中旬: 平年に比べ、平均気温は3.6℃高く、降水量は11.6mm少なく、日照時間は25.8時間多かった。

根雪終は4月5日で平年より7日早く、積雪期間は平年より3日短かった。耕鋤始は4月21日で平年より1日遅かった。（表1）。

表1 季節表

季節表(上川農業試験場)						
年次	初霜 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)
本年	H27.10.15	H27.11.21	H28.4.5	137	H28.4.30	H28.4.21
平年	10.7	11.26	4.12	140	4.27	4.20
比較	8	△5	△7	△3	3	1

注1) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

注2) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

注3) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

気象表		道総研(比布)																	
年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(h r)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平成27年 11月	上旬	4.7	5.5	▲0.8	10.1	10.3	▲0.2	▲0.9	1.3	▲2.2	12.0	38.7	▲26.7	1.0	6.1	▲5.1	39.3	27.7	11.6
	中旬	2.7	1.3	1.4	6.4	5.0	1.4	▲0.8	▲2.1	1.3	25.5	28.3	▲2.8	5.0	6.2	▲1.2	26.0	19.9	6.1
	下旬	▲2.6	▲0.7	▲1.9	1.6	2.6	▲1.0	▲7.6	▲4.2	▲3.4	23.5	35.2	▲11.7	5.0	6.8	▲1.8	21.2	17.6	3.6
12月	上旬	▲1.0	▲3.4	2.4	2.0	▲0.1	2.1	▲4.1	▲7.4	3.3	35.5	30.3	5.2	6.0	6.9	▲0.9	9.5	18.8	▲9.3
	中旬	▲1.6	▲5.2	3.6	1.9	▲1.8	3.7	▲6.2	▲9.7	3.5	20.0	23.6	▲3.6	6.0	7.1	▲1.1	13.5	16.5	▲3.0
	下旬	▲6.2	▲6.4	0.2	▲2.5	▲2.8	0.3	▲10.3	▲11.4	1.1	36.5	20.5	16.0	7.0	7.5	▲0.5	29.4	19.2	10.2
平成28年 1月	上旬	▲4.9	▲7.5	2.6	▲3.1	▲3.8	0.7	▲7.3	▲12.7	5.4	36.0	16.9	19.1	10.0	5.9	4.1	9.3	17.8	▲8.5
	中旬	▲8.9	▲9.3	0.4	▲5.1	▲5.4	0.3	▲13.2	▲14.4	1.2	4.5	19.5	▲15.0	3.0	6.4	▲3.4	22.5	21.0	1.5
	下旬	▲8.3	▲7.9	▲0.4	▲4.5	▲3.7	▲0.8	▲14.5	▲13.2	▲1.3	17.0	15.4	1.6	6.0	6.3	▲0.3	31.8	29.7	2.1
2月	上旬	▲7.6	▲8.6	1.0	▲3.2	▲3.8	0.6	▲13.5	▲14.5	1.0	9.0	12.6	▲3.6	4.0	5.5	▲1.5	19.5	33.8	▲14.3
	中旬	▲3.5	▲7.1	3.6	▲0.6	▲2.5	1.9	▲7.5	▲12.9	5.4	45.5	15.7	29.8	9.0	5.3	3.7	14.9	34.9	▲20.0
	下旬	▲7.1	▲5.3	▲1.8	▲3.2	▲0.2	▲3.0	▲12.6	▲11.5	▲1.1	17.0	11.0	6.0	6.0	4.2	1.8	25.7	33.6	▲7.9
3月	上旬	▲5.2	▲4.2	▲1.0	0.4	0.4	0.0	▲12.0	▲9.9	▲2.1	9.0	14.5	▲5.5	4.0	5.4	▲1.4	43.3	42.9	0.4
	中旬	▲0.5	▲1.9	1.4	4.6	2.5	2.1	▲6.9	▲7.0	0.1	2.0	20.1	▲18.1	2.0	5.5	▲3.5	61.7	36.3	25.4
	下旬	0.2	▲0.5	0.7	5.6	4.4	1.2	▲5.4	▲5.5	0.1	5.5	11.4	▲5.9	4.0	5.1	▲1.1	69.0	57.6	11.4
4月	上旬	4.0	1.8	2.2	9.2	6.7	2.5	▲1.1	▲3.6	2.5	13.5	20.0	▲6.5	4.0	4.5	▲0.5	61.1	53.9	7.2
	中旬	4.0	3.9	0.1	8.6	9.5	▲0.9	▲0.1	▲1.3	1.2	24.0	16.6	7.4	9.0	3.7	5.3	29.4	58.2	▲28.8
	下旬	6.5	7.5	▲1.0	12.4	13.9	▲1.5	1.2	1.4	▲0.2	10.0	13.8	▲3.8	2.0	3.6	▲1.6	64.8	57.2	7.6
5月	上旬	10.9	10.2	0.7	16.9	16.7	0.2	4.8	4.0	0.8	22.5	23.6	▲1.1	5.0	4.7	0.3	56.4	57.4	▲1.0
	中旬	14.3	10.7	3.6	20.9	17.0	3.9	8.0	5.0	3.0	8.5	20.1	▲11.6	3.0	4.3	▲1.3	79.8	54.0	25.8

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス過去10か年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲： 平年並

事由： 播種は平年より1日遅い4月15日に行った。育苗期間の天候は4月中旬が寡照に経過し、出芽は平年よりやや遅れ、出芽揃いもやや劣った。4月下旬の日照時間は平年よりやや多かったが、気温は平年より低く、苗の生育は遅延した。5月以降、気温は平年より高く、日照時間は平年並から上回り、苗の生育は回復傾向となった。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の草丈は平年より1.9～2.6cm低く、第1葉鞘高は平年並であった。主稈葉数と茎数はほぼ平年並であった。地上部乾物重は平年より0.83～0.87g軽かった。苗の形質はいずれも、機械移植栽培基準の範囲にあり、苗の充実度を現す地上部乾物重/草丈は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

表3 移植時における苗素質

平成28年度 水稲作況調査表

項目	品種名 /年次	ななつぼし			きらら397			ゆめぴりか		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月日)	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1
	移植期 (月日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1
	幼穂形成期 (月日)		6.23			6.26			6.23	
	止葉期 (月日)		7.09			7.11			7.09	
	出穂期 (月日)		7.21			7.22			7.20	
	成熟期 (月日)		9.08			9.10			9.06	
	穂揃日数 (日)		8			7			8	
	登熟日数 (日)		49			50			48	
生育日数 (日)		147			1			145		
移植時	草丈 (cm)	11.1	13.7	▲ 2.6	11.2	13.1	▲ 1.9	11.4	13.6	▲ 2.2
	葉数 (枚)	4.0	4.0	0.0	4.1	4.1	0.0	4.0	4.2	▲ 0.2
	茎数 (本)	1.9	1.7	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	2.0	0.0
	第1葉鞘高 (cm)	2.4	2.5	▲ 0.1	2.5	2.6	▲ 0.1	2.4	2.5	▲ 0.1
	地上部乾物重 (g/100本)	3.58	4.41	▲ 0.83	3.40	4.23	▲ 0.83	3.60	4.47	▲ 0.87
	地上部乾物重/草丈	0.32	0.32	0.00	0.30	0.32	▲ 0.02	0.32	0.33	▲ 0.01
本田生育	葉数 (枚)	6月20日		8.2			8.6			8.6
		7月20日		10.2			11.0			10.6
		止葉葉数		10.2			11.0			10.6
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	6月20日		608			727			680
		7月20日		731			797			816
	草丈 (cm)	6月20日		39.7			34.0			37.8
7月20日			81.9			73.7			80.5	
成熟期	稈長 (cm)		67.9			62.7			65.1	
	穂長 (cm)		16.7			16.5			16.8	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )		672			727			755	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)		49.1			42.2			42.6	
	m <sup>2</sup> 当たり粒数 (×千)		33.0			30.5			32.0	
	稔実歩合 (%)		96.1			95.6			95.1	
	m <sup>2</sup> 当たり稔実粒数 (×千)		31.7			29.2			30.4	
	同上比 (%)		100			100			100	
	登熟歩合 (%)		90.8			87.1			87.1	
	籾摺歩合 (%)		81.9			80.9			79.7	
	屑米歩合 (%)		1.7			2.1			2.7	
精玄米千粒重 (g)		22.4			23.3			22.8		
収量	藁重 (kg/10a)		629			582			604	
	精籾重 (kg/10a)		810			792			796	
	精玄米重 (kg/10a)		663			640			634	
	収量平年比 (%)		100			100			100	
	検査等級 (等)		1下			1下			1下	

注 1) 平年値は前7カ年の中、平成21年(最凶年)、平成26年(最豊年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm<sup>2</sup>あたり、床土 N 3.0g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 7.2g, K<sub>2</sub>O 3.0g、

置床 N 27.0g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 34.0g, K<sub>2</sub>O 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m<sup>2</sup> (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 9.7kg, K<sub>2</sub>O 6.9kg、堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：やや良

9月20日現在：

事由：平年より5日早い9月10日に播種し、平年より5日早い9月19日に出芽期となった。

10月20日現在：やや良

事由：出芽期が平年より5日早く、9月下旬の気温が高かったことから、生育は平年より進んでいる。葉数、草丈および茎数はいずれも平年を上回り、特に茎数は平年の約2倍となっている。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

5月20日現在：やや良

事由：根雪始は平年より5日早く、根雪終は平年より7日早く、積雪期間は平年より3日短い137日となった。雪腐病発病度は平年より低く、越冬茎歩合は平年よりやや高く、現時点の茎数は平年より多い。根雪終が平年より早く、融雪後の気温が4月下旬を除いて平年より高く推移したため、生育は進んでおり、草丈は平年より高い。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表4. 5月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名		きたほなみ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.10	9.15	△ 5
出芽期 (月.日)		9.19	9.24	△ 5
出穂期 (月.日)			6.06	
成熟期 (月.日)			7.18	
越冬茎歩合 (%)		132.3	128.2	4.1
雪腐病発病度		3.1	12.1	▲ 9.0
葉数(枚)	平27年10月20日	5.1	4.4	0.7
草丈 (cm)	平27年10月20日	19.6	18.5	1.1
	平28年 5月20日	42.9	38.4	4.5
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	平28年 6月20日		86.5	
	平27年10月20日	1473	723	750
	平28年 5月20日	1599	1366	233
成熟期	平28年 6月20日		685	
	稈長 (cm)		78	
	穂長 (cm)		8.6	
	穂数(本/m <sup>2</sup> )		633	
子実重 (kg/10a)			646	
同上平年比 (%)				
リットル重 (g)			804	
千粒重 (g)			39.2	
検査等級 (等)			2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、27年（収穫年度）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦：平年並

事由：融雪は平年より7日早かったが、その後の天候不順により播種期は平年より3日遅い4月22日であった。その後、出芽期は平年より1日遅れに留まり、草丈、茎数とも平年をやや下回る程度であった。

したがって、目下の作況は「平年並」である。

表5. 5月20日の春まき小麦の生育

品 種 名		春よ恋		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.22	4.19	3
出芽期	(月.日)	5.05	5.04	1
出穂期	(月.日)		6.17	
成熟期	(月.日)		7.28	
草丈 (cm)	5月20日	16.7	20.5	▲ 3.8
	6月20日		81.7	
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	496	684	▲ 188
	6月20日		758	
成 熟 期	稈長 (cm)		91	
	穂長 (cm)		8.7	
	穂数(本/m <sup>2</sup> )		512	
子実重	(kg/10a)		1296	
同上	平年比 (%)		484	
リットル重	(g)		788	
千粒重	(g)		40.2	
検査等級	(等)		2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

4) 大豆

5月20日現在

播種は、平年より3日早い5月18日に行った。

表6. 5月20日の大豆の生育

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.18	5.21	△ 3
出芽期	(月.日)		6.06	
開花期	(月.日)		7.12	
成熟期	(月.日)		9.22	
主茎長 (cm)	6月20日		11.9	
	7月20日		63.5	
	8月20日		71.8	
	9月20日		72.2	
	成熟期		72.9	
主茎 節数 (節)	6月20日		4.2	
	7月20日		10.5	
	8月20日		10.7	
	9月20日		10.9	
	成熟期		10.9	
分枝数 (本/株)	7月20日		7.1	
	8月20日		7.5	
	9月20日		6.1	
	成熟期		5.9	
着莢数 (個/株)	8月20日		91	
	9月20日		77	
	成熟期		76	
子実重	(kg/10a)		426	
同上	平年比 (%)		100	
百粒重	(g)		36.5	
屑粒率	(%)		3.7	
検査等級	(等)		3上	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成22年、26年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

4) ばれいしょ

5月20日現在

植付けは、平年（5月8日）より2日遅い5月10日に行った。

表7. 5月20日のばれいしょの生育

品 種 名		男爵薯		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.10	5.08	2
萌芽期 (月.日)			5.28	
開花始 (月.日)			6.23	
枯凋期 (月.日)			8.30	
茎長 (cm)	6月20日		38.0	
	7月20日		51.7	
上いも数 (個/株)	7月20日		9.7	
	8月20日		10.9	
上いも平均一個重 (g)	7月20日		80	
	8月20日		104	
上いも収量 (kg/10a)	7月20日		3406	
	8月20日		4957	
でん粉価 (%)	7月20日		14.4	
	8月20日		14.9	
収 穫 期	上いも数 (個/株)		10.7	
	上いも平均一個重 (g)		103	
	上いも収量 (kg/10a)		4821	
	同上平年比 (%)		100	
	中以上いも収量 (kg/10a)		4326	
	同上平年比 (%)		100	
	規格内いも収量 (kg/10a)		4070	
	同上平年比 (%)		100	
でん粉価 (%)		14.6		

注1) 平年値は、前7か年中、平成22年、23年を除く5か年の平均値。

表8. 各作物の耕種概要

作物名	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数 (本)	播種粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	株数 (株/10a)	施肥量 (kg/10a)				
							N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥
秋まき小麦	緑肥ひまわり	30	-	-	255	-	4.0+6.0+4.0	10.0	6.0	2.5	-
春まき小麦	緑肥大豆	30	-	-	340	-	9.0	16.2	10.8	2.7	-
大豆	秋まき小麦	60	20	2	-	8333	1.8	13.2	9.0	4.2	-
小豆	秋まき小麦	60	20	2	-	8333	3.0	12.0	7.0	2.5	-
ばれいしょ	緑肥大豆	75	30	-	-	4444	7.5	15.0	10.5	3.8	-

注) 秋まき小麦 N: 基肥+起生期+止葉期